

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公表番号】 特表 2007-519079 (P2007-519079A)
 【公表日】 平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-026
 【出願番号】 特願 2006-536597 (P2006-536597)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 0 5 D

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 7 月 23 日 (2007.7.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

少なくとも 1 つのアプリケーションと通信しているコンピューターシステムにおいて、
 1 または複数のアプリケーションに連絡先情報をどのように提供するかを制御する方法であって、該方法が、

アプリケーションからの所望の連絡先情報についての要求を検出すること、

前記要求に応じて、前記コンピューターシステムで利用可能な 1 つ以上あり得る連絡先役柄から 1 つの適切な連絡先役柄（各連絡先役柄は利用可能な連絡先情報を有する）を選択すること、

前記要求に応じて、前記アプリケーションに提供を予定する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定し、かつ該特定された連絡先情報を前記アプリケーションに提示するときの適切なフォーマットを決定すること、

前記アプリケーションに提供を予定する前記情報を前記ユーザーに提示することで、当該情報を前記アプリケーションに実際に提供するか否か、および別の情報を前記アプリケーションに提供するか否かを該ユーザーが決定することを可能にし、かつ

前記ユーザーの指定どおりに前記アプリケーションへ前記適切なフォーマットで前記特定された連絡先情報を提供すること、
 を包含することを特徴とする方法。

【請求項 2】

複数の前記利用可能性のある連絡先役柄のそれぞれが前記コンピューターシステムの一人のユーザーに対応することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記適切な連絡先役柄を選択することが、前記可能性のある連絡先役柄の 1 つについてのユーザー選択に応じて起こることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記可能性のある連絡先役柄のリストが選択のために前記ユーザーに提示されることを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、前記利用可能な連絡先情報についてのユーザー選択を通して起こることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、前記適切な連絡先役柄に対応するデフォルト設定に応じて自動的に起こることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記要求に応じて前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、何のために前記連絡先情報を使用するのであるかを判定することを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記アプリケーションが前記要求された連絡先情報をアクセスするための権限を有しているか否かを判定することをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記アプリケーションが前記要求された連絡先情報をアクセスするための権限を有していると判定したときには、前記適切な連絡先役柄を自動的に選出し、前記特定された連絡先情報を自動的に特定して前記適切なフォーマットで前記アプリケーションに提供することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記アプリケーションが権限を有することを、前記コンピューターシステムのアクセスコントロールリストに用意されている 1 つまたは複数の権限に基づいて、判定することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

情報を要求する前記アプリケーションが、前記コンピューターシステムとインターネットを通して通信している遠隔システム上でホスティングされていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記連絡先情報を要求する前記アプリケーションが、前記コンピューターシステムによりホスティングされていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記要求された連絡先情報が、少なくとも 1 つの名前またはアドレスを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

第 1 の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報が、第 2 の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報と異なっているが、それにもかかわらず、前記第 1 および第 2 の連絡先役柄はともに同一の実在者に対応していることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

少なくとも 1 つのアプリケーションと通信しているコンピューターシステムにおいて、1 つまたは複数のアプリケーションに連絡先情報をどのように提供するかを制御する方法であって、該方法が、

ユーザーが、複数の可能性のある連絡先役柄から、それぞれの連絡先役柄が個人および該個人に関する個別の連絡先情報に対応する連絡先役柄を選択することを可能にするためのインターフェースオブジェクトを提供することであって、下記第 1 および第 2 の連絡先役柄はともに同一人物に関連付けられているにもかかわらず、第 1 の連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報が第 2 の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報と異なること、

特定の連絡先役柄のユーザー選択に応じて、該選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報を表示し、かつ

前記選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報をユーザーが変更することを可能にし、かつ

前記コンピューターシステムから、連絡先情報を探求しているアプリケーションに、前記選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報を提供することを含むことを特徴とする方法。

【請求項 16】

前記インターフェースオブジェクトを、連絡先情報を求める前記アプリケーションによる要求に応じて表示することを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記連絡先情報が前記アプリケーションにより、どのように、および、いつ使用されるであろうか、の内の少なくとも 1 つを指定する前記アプリケーションの 1 つまたは複数のプライバシーに関する方針とともに、前記個別の連絡先情報を表示することを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 18】

前記要求するアプリケーションが、前記コンピューターシステムとインターネットを通して通信している遠隔システム上でホスティングされていることを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 19】

前記要求するアプリケーションが前記コンピューターシステムによりホスティングされていることを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 20】

前記要求された連絡先情報が少なくとも 1 つの氏名またはアドレスを含むことを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 21】

前記連絡先役柄が前記コンピューターシステムでログオンされているユーザーに関連付けられていることを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 22】

少なくとも 1 つのアプリケーションと通信しているコンピューターシステムにおいて使用されるためのコンピュータープログラムであって、該コンピュータープログラムが、1 つまたは複数のアプリケーションに連絡先情報をどのように提供するかを制御する方法を実現するためのコンピューターで実行可能な命令を有する 1 つまたは複数のコンピューターで読み取り可能な命令を含み、該方法が、

アプリケーションからの所望の連絡先情報についての要求を検出すること、

前記要求に応じて、前記コンピューターシステムで利用可能な 1 つ以上あり得る連絡先役柄から 1 つの適切な連絡先役柄（各連絡先役柄は利用可能な連絡先情報を有する）を選択すること、

前記要求に応じて、前記アプリケーションに提供を予定する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定し、かつ該特定された連絡先情報を前記アプリケーションに提示するときの適切なフォーマットを決定すること、

前記アプリケーションに提供を予定する前記情報を前記ユーザーに提示することで、当該情報を前記アプリケーションに実際に提供するか否か、および別の情報を前記アプリケーションに提供するか否かを該ユーザーが決定することを可能にし、かつ

前記ユーザーの指定どおりに前記アプリケーションへ前記適切なフォーマットで前記特定された連絡先情報を提供することを含むことを特徴とするコンピュータープログラム。

【請求項 23】

前記利用可能性のある連絡先役柄のそれぞれが前記コンピューターシステムの一個人のユーザーに対応することを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータープログラム。

【請求項 24】

前記適切な連絡先役柄を選出することが、前記可能性のある連絡先役柄の 1 つについて

のユーザー選択に応じて起こることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 25】

前記可能性のある連絡先役柄のリストが選択のために前記ユーザーに提示されることを特徴とする請求項 24 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 26】

前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、前記利用可能な連絡先情報についてのユーザー選択を通して起こることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 27】

前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、前記適切な連絡先役柄に対応するデフォルト設定に応じて自動的に起こることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 28】

前記要求に応じて前記アプリケーションに提示する少なくともいくつかの前記利用可能な連絡先情報を特定することが、何のために前記連絡先情報を使用するのかを判定することを含むことを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 29】

前記アプリケーションが前記要求された連絡先情報をアクセスするための権限を有しているか否かを判定することをさらに含むことを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 30】

前記要求された連絡先情報をアクセスするための権限を前記アプリケーションが有していると判定したときには、前記適切な連絡先役柄および前記特定された連絡先情報のうちの少なくとも1つを、自動的に選択して前記適切なフォーマットで前記アプリケーションに提供することを特徴とする請求項 29 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 31】

前記コンピュータシステムのアクセスコントロールリストに用意された1つまたは複数の権限に基づいて、前記アプリケーションが権限を有することを判定することを特徴とする請求項 29 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 32】

情報を要求する前記アプリケーションが、前記コンピュータシステムとインターネットを通して通信している遠隔システム上でホスティングされていることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 33】

前記連絡先情報を要求する前記アプリケーションが、前記コンピュータシステムによりホスティングされていることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 34】

前記要求された連絡先情報が、少なくとも1つの氏名またはアドレスを含むことを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 35】

第1の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報が第2の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報と異なるが、それにもかかわらず、前記第1および第2の連絡先役柄はともに同一の実在者に対応していることを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 36】

少なくとも1つのアプリケーションと通信しているコンピュータシステムにおいて、1つまたは複数のアプリケーションに連絡先情報がどのように提供するかを制御するためのコンピュータプログラムであって、前記コンピュータプログラムが、

複数の可能性のある連絡先役柄（それぞれの連絡先役柄が個人および該個人に関する個別の連絡先情報に対応する）から1つの連絡先役柄をユーザーが選択することを可能にするためのインターフェースオブジェクトを提供することであって、下記第1および第2の連絡先役柄はともに同一人物に関連付けられているにもかかわらず、第1の連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報が第2の連絡先役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報と異なること、

特定の連絡先役柄のユーザー選択に応じて、該選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報を表示し、かつ

前記選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報をユーザーが変更することを可能にし、かつ

連絡先情報を探求しているアプリケーションに対して前記選択された連絡先役柄に対応する前記個別の連絡先情報を前記コンピューターシステムから提供することを含むことを特徴とするコンピュータープログラム。

【請求項37】

前記インターフェースオブジェクトを、連絡先情報を求める前記アプリケーションによる要求に応じて表示することを特徴とする請求項36に記載のコンピュータープログラム。

【請求項38】

前記連絡先情報が前記アプリケーションにより、どのように、および、いつ使用されるか、の内の少なくとも1つを指定する、前記アプリケーションの1つまたは複数のプライバシーに関する方針とともに、前記個別の連絡先情報を表示することを特徴とする請求項36に記載のコンピュータープログラム。

【請求項39】

前記要求中のアプリケーションが、前記コンピューターシステムとインターネットを通して通信している遠隔システム上でホスティングされていることを特徴とする請求項36に記載のコンピュータープログラム。

【請求項40】

アプリケーションプログラミングインタフェイスを表わすデータ構造をその上に有する1つまたは複数のコンピューターで読み取り可能な媒体であって、該アプリケーションプログラミングインタフェイスが要求中のアプリケーションへ個人の連絡先情報を表示するのを制御するよう構成されており、該データ構造が、

それぞれの連絡先役柄が前記個人に対応する連絡先情報を含む、複数の連絡先役柄にアクセスするためのコンピューターで実行可能な命令と、

前記個人についての連絡先情報を求めるアプリケーションからの要求を受け取るためのコンピューターで実行可能な命令と、

複数の連絡先役柄の中の適切な1つにより特定されるように、該連絡先役柄を選択するユーザー入力に応じて適切な連絡先役柄を決定し、該適切な連絡先情報を前記アプリケーションに提供するためのコンピューターで実行可能な命令とを含むことを特徴とするコンピューターで読み取り可能な媒体。

【請求項41】

アプリケーションに連絡先情報をどのように提供するかを制御する方法であって、該方法が、

前記連絡先情報に対するアクセス権を有しコンピューターシステムからの該連絡先情報を要求する前記アプリケーションと、

前記コンピューターシステムから前記連絡先情報を受け取ることであって、該連絡先情報が1つ以上の可能性のある連絡先役柄から1つの適切な連絡先役柄をユーザーが選択することに応じて前記コンピューターシステムにより確認され選出された連絡先情報であること、該1つ以上の可能性のある連絡先役柄は前記コンピューターシステムに対して利用可能であること、各連絡先役柄は異なった角度からユーザーを規定する利用可能な連絡先情報を含むこと、

前記連絡先情報を受け取る前に、前記選択された役柄に対応する前記利用可能な連絡先情報を、前記対応する利用可能な情報のいずれを前記アプリケーションに提供させるかをユーザーが選択できるようなやり方で、該ユーザーに対して表示すること、および

前記ユーザーにより選択された通りに前記対応する利用可能な連絡先情報から前記連絡先情報を前記アプリケーションに提供すること、を含むことを特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明はコンピューターおよび電子機器におけるユーザーインターフェースメニューに関し、より詳細には、連絡先情報 (contact information) をどのようにコンピューターアプリケーションに提供するかを制御する方法、システム、およびコンピュータープログラムに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、1つまたは複数の要求中のアプリケーションに連絡先情報をどのように提供するかを制御するための、さらに詳細には、ユーザーがその連絡先情報のどれがアプリケーションで収集されるかについての知識を与えられた状態で制御することを可能にするための、改良された方法、システム、および対応するコンピュータープログラム、およびインターフェースを対象としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、連絡先情報を使用させるためにアプリケーションに対して如何に組織化し、提示するかについて制御する方法、システム、およびコンピュータープログラムまで及ぶ。